

令和5年度 社会教育委員会（第1回） 議事要旨

◇日 時

令和5年5月30日(火) 午後7時～午後8時20分

◇会 場

生涯学習センター 2階 学習室2

◇出席者

【委員】 小田委員長、杉山副委員長、伊丹委員、櫻井委員、小澤委員
大野委員、大森委員、市川委員、竹田委員、井草委員、渡邊委員
志田委員、高島委員

【行政】 風間教育長、亀崎鈴木図書館長

【事務局】 古谷生涯学習課長、渡邊主幹、関野主査

◇会議次第及び内容（○は委員の発言）

1 開 会 （事務局）

2 委員委嘱及び任命【P.1】

すべての委員に委嘱状及び任命書を交付。

新規委員の代表者に教育長より交付し、その他の委員については机上配布した。

3 教育長あいさつ

風間教育長挨拶

本日は新しく社会教育委員になられた方々をお迎えしての会議となる。

社会教育というのは、非常に難しいものだと思えている。かつての上司の教育長からは、学校教育はだまっていなくても子供達は学校に来てくれるけれど、社会教育は自分達で活動を見つけていかなければいけない難しさがあると話されていた。何年も昔の話だが、強く記憶に残っている。

社会教育とは何かということ考えると、学校以外の場所で青少年あるいは社会人を対象に組織的に行う教育の場であると記憶している。幅広い中でそれぞれの自治体がどの様に進めるかについては、それぞれの判断に任せられるというのが非常に大きいのではないかと考える。たしかに、学習文化の施設管理から始まり、市民を対象とした行事の準備と実施、青少年教育活動、あるいは生涯学習へ援助というような事までが守備範囲に入る。それに加えて近年ではそのほかの活動として地域学校協働本部の活動をどうするかも入ってきている。

幅広い立場から裾野市の社会教育をどのように組み立てていくかということで、ご意見を頂けるとありがたい。

4 委員及び職員紹介（自己紹介）

委員及び職員の自己紹介

5 社会教育関係施策概要説明 資料1 資料2 資料3

・令和5年度生涯学習課・鈴木図書館施策概要

生涯学習課長より

新型コロナウイルス感染症の5類変更に伴い活動が活性化すると想定されるとし、年間行事計画表をもとに、寿大学、わたしの主張裾野市大会、婦人会委託事業、はたちの会、放課後子ども教室、富士山資料館特別開館、裾野市駅伝大会、市民スポーツ祭等主な事業を中心に説明。

鈴木図書館長より

鈴木図書館の令和5年度から7年度の実施計画、令和5年度の目標、図書館運営の充実と情報発進課と連携した積極的な情報発信などの計画について説明。

(教育長、鈴木図書館長はここで退席)

6 報告事項

- ・各種委員会委員選出について【P.2】

事務局より報告

鈴木図書館協議会委員 志田忠弘委員を選出

東西公民館運営審議会委員 市川勝也委員を選出

裾野市民生委員推薦会委員 井草ますみ委員を選出

裾野市社会福祉協議会評議員 小田圭介委員長を選出

裾野市社会福祉協議会評議員は社会教育委員長のあて職。他の委員は報告締切りの都合上、本人の内諾を得て選出させていただいた。

7 協議事項

- ・正・副委員長選出について

正副委員長については、裾野市社会教育委員条例第6条に「委員は、委員会を構成し、互選により委員長及び副委員長を定める」とされている。

小田圭介委員の委員長への立候補があり承認される。

副委員長については委員長の推薦を受け杉山委員が承認される。

委員長 (小田 圭介 委員)

副委員長 (杉山 善彦 委員)

(以降の協議事項は委員長が進行)

- ・令和4年度事業実績及び令和5年度事業計画について【P.3～6】

事務局より説明

令和4年度社会教育委員会活動実績と東部地区・県等で実施した会議・研修会等の事業実績について報告。併せて令和5年度の事業計画について説明。

質疑等

○なし

- ・今期の協議内容について

社会教育委員について 資料4

事務局より説明

社会教育法、裾野市社会教育委員条例、裾野市社会教育委員会議規則等を説明。

- ・社会教育振興事業費補助金の交付について【P.7】

事務局より説明

社会教育法第 13 条において、社会教育団体へ補助金を交付する場合には、社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない、とされているため、令和 4 年度実績と令和 5 年度計画について説明。

質疑等

○なし

8 その他

- ・次回の開催日について

7月19日（水）19:00～ 生涯学習センター 2階 学習室1 において開催

- ・社会教育基礎研修（東部）について
6月21日開催の研修日程等を説明

- ・メールの利用について
委員の連絡先メールアドレスの登録について依頼

9. 閉 会（杉山副委員長）